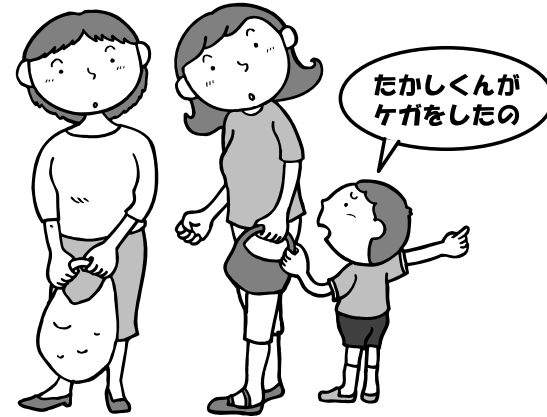
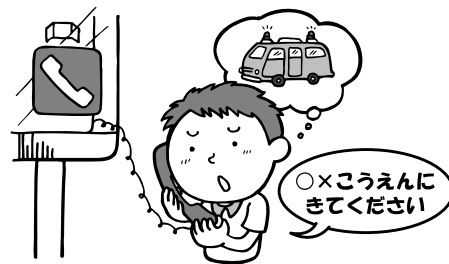


E-1 事故が起きたらすぐに助けを求める

- ① 近くにいる大人の人に助けを求める。
- ② 近くの家に行って助けを求める。
- ③ 緊急の連絡先が表示してあれば、そこに連絡する。
- ④ 119番に電話して救急車を呼ぶ。



E-2 ケガをした人には

- ① 友だちが助けを呼ぶ間、付き添っている。
- ② 怪我人は、なるべく動かさない。
- ③ ぶつけたところは水で冷やす。
- ④ 血が出ていたら布でおさえるか、本人の手でおさえる。
- ⑤ 大量に血が出ていたら傷口の少し上部を縛り血を止める。



F-1 その他の危険

- ① 交通事故に注意。道路に飛び出したりしない。
- ② 知らない人は、いい人か悪い人かわからないので付いていったりしない。



マスコミ報道

SINCE 2003



遊具個別注意シール



遊具種類別注意シール

公園遊具に

家庭に

シール



ガキ大将になりかわり

- ①かつては年齢差のある子どもの集団がありました。その中では「遊びの文化」が根付き、世代間で遊びの伝承が行われ、併せて個々の遊びに関わる危険の度合いや事故をどのように予防すべきかも教えられました。
このテキストに掲げた内容のほとんどは、子ども集団にとっていわば「常識」だったのです。
- ②そこにはガキ大将がいて、一人一人の子どもの年齢や能力に応じて遊びを指導し、小さな危険に挑戦させることで大きな危険を防いでいました。
ガキ大将の絶対の条件は喧嘩に強いことではなく、遊び方や遊びに伴う危険をよく知っており「小さい子ども、弱い子どもに気を配る」ことでした。
- ③少子化が続いている今ではそのような子どもの集団は無くなり、ガキ大将もいません。
そもそも子どもの親自身も少子化、核家族化さらに遊びの変化の中で遊びの危険について教えられておらず、子どもを的確に指導できないことが多いようです。
- ④遊具と遊び場に関わる事故防止のための適切な参考書が見当たらないので、検討委員会の先生方のご指導のもとに、かつての「ガキ大将になりかわり」ここに要点を取りまとめた次第です。

大人も危ない!

- ①遊具に関わる事故は、子どもだけのものではありません。
遊具で子どもと遊ぶ保護者の事故も少なくないので要注意です。
- ②たとえば体重が重いので滑り台では思わぬ加速度が出て着地に失敗したりします。中高年ではいつの間にか体力や運動能力も低下していることを本人は意識しないで、事故に結びつく場合があります。
- ③子どもを抱いたり抱えたりして遊具で遊ぶことは子どもにも大人にも危険なので厳禁です。
大人は子どもに身体の自由を奪われ敏捷な動きができないし、そもそも遊具はそうした遊び方を想定して造られていません。

JPFAの取り組みについて

- ①はじめに述べたように、遊具に関わる事故を防止するには遊具を「つくる」、「まもる」そして「つかう(遊ぶ)」立場の三者が協力しつつ、それぞれに努力する必要があります。このパンフレットは遊具を「つかう(遊ぶ)」立場の方々のためにJPFAが制作したものです。
- ②遊具を「つくる」立場にあるJPFAは平成14年に日本で初めて「遊具の安全に関する規準(案)JPFA-S:2002」を策定し、会員企業はこれに基づいて安全な遊具の製造・提供に努めています。この規準(案)は公開されているので、ご参考になさってください。お問い合わせはFax.でJPFAへ(03-3297-0906)。
- ③JPFAはまた平成15年に、遊具と遊び場の安全利用表示システムの運用を開始しました。
このパンフレットとあいまって遊具で遊ぶこども達に注意を促すためのものですので、遊具の管理者はぜひご利用ください。

普及啓発のために

- ①このパンフレットの内容をできるだけ多くの方々に理解し活用していただきたいので、コピーは自由です。
但し変更利用はお断りします。
- ②コピーする場合は必ず出典を明記してください。大量の場合は用途や部数をJPFAにご連絡ください。

仲良く遊ぼう安全に

～子どもの指導者と保護者のために～

編集・発行 社団法人 日本公園施設業協会
会長 栗田 嘉嗣
東京都中央区湊2-12-6 〒104-0043
TEL (03) 3297-0905 FAX (03) 3297-0906
発行年 2004年3月1日

「遊具の安全な利用方法の啓発資料作成委員会」
委員長 岩河 信文(明治大学農学部教授)
委員 大坪 龍太(PSN:プレイグラウンド・セーフティ・ネットワーク代表)
(50音順) 大村 璋子(IPA:International Play Association 日本支部運営委員)
荻須 隆雄(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)
齋藤 歎能(横浜国立大学名誉教授)
東間 掬子(遊びの環境デザイナー)
永島 勝治(社団法人日本公園施設業協会副会長)
高尾 典秀(同・広報委員長)
高橋 信行(同・専務理事)
デザイン 田中 一勝
イラスト 渡辺 綾